

女子大生、気迫の一本 可児で漱玉館杯争奪剣道大会

岐阜、愛知、福井の8大学競う



漱玉館杯で激しく打ち合う選手＝可児市
大森奥洞、漱玉館

伊藤青少年育成奨学会の武道場「漱玉館」(可児市大森奥洞)で第2回漱玉館杯争奪中部女子学生選抜剣道大会が開かれ、岐阜、愛知、福井県の大学女子剣道部員が鍛錬の成果を競った。

同奨学会とバローホールディングス(HD)、多治見市剣道連盟の共催。8大学から計47人が出場し、トーナメント形式で競った。優勝したのは星城大(愛知県東海市)。中部学院大

(関市)が準優勝した。上位校には陶製のメダルが贈られたほか、タレントで剣道6段の渡辺正行さんらゲストと選抜選手の特別試合も行われた。

同奨学会の田代久美子理事長は開会式で「気迫のぶつかり合う大会を期待しています」とあいさつ。田代正美バローHD会長兼CEOは「剣道に触れる子どもが少なくなっている。競技人口を増やしていきたい」と語った。(稲木悠司)